

環境ポリシー

要旨

本ポリシーは、ソフトバンクグループ(ソフトバンクグループ株式会社とその子会社を意味します) およびその役員、従業員(正社員以外の従業員を含み、総称して「私たち」といいます)が、地球環境に配慮して企業活動を行うための原則を定めたものです。

300年成長し続ける企業を目指すソフトバンクグループは、地球環境の維持・保全がソフトバンクグループの持続可能性・成長性の基盤であるという認識のもと、全ての事業活動において地球環境への負荷低減を意識し、省資源・省エネルギーに努めます。また、人類と自然の調和を目指し、エネルギー効率の向上と資源の有効活用に努めるとともに、生物多様性の維持と継続的な自然環境改善への貢献に努めます。

方針

環境関連法規制等の順守

私たちは、事業を展開する国や地域内外における環境保全に関する法規制等を順守します。

気候変動への対応

私たちは、気候変動の影響や関連するリスクと機会を認識し、気候変動の緩和と適応に取り組みます。

環境負荷の低減と省資源

私たちは、あらゆる事業活動の推進において、エネルギーや資源の効率的かつ持続可能な利用の重要性を認識し、温室効果ガス排出量削減、再生可能エネルギーの積極的導入、エネルギーや資源の使用量削減、廃棄物削減やリサイクルの推進、水使用の削減、自然環境に配慮した調達網の構築等を通じて、環境負荷低減のため、継続的な改善に努めます。

生物多様性の保全

私たちは、生物多様性保全の重要性を認識し、事業活動が環境や生物多様性に及ぼす負の影響の予防、または低減に努めます。

情報開示とコミュニケーション

私たちは、本ポリシーの内容を社内外に公開するとともに環境に関する情報の開示に努め、ビジネスパートナーやサプライヤーをはじめとする社内外のすべてのステークホルダーとの積極的なコミュニケーションを推進します。

所管部門

本ポリシーの所管部門は、ソフトバンクグループ株式会社のサステナビリティ部とします。

改正ないし廃止

本ポリシーの重要な改正または廃止には、ソフトバンクグループ株式会社の取締役会による決議が必要となります。

施行

本ポリシーは、2022年6月24日より一部改正施行します。

附 則

- 1 2021年5月1日 施行
- 2 2022年6月24日 改正